

## 2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2018年4月17日(火)18:00～19:20

場所：聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議長：片岡弥恵子(委員長)

出席委員：片岡弥恵子、鶴若麻理、小野若菜子、小林京子、縄秀志、高橋奈津子、松井陽、青木美紀子、  
大久保 暢子、川上千春、中村めぐみ、墨岡亮、鐘ヶ江真知恵、神里彩子

欠席委員：中山 昌明

(出席者 14人をもって、委員会の成立)

### 1. 審議事項:新規申請(本審査)

#### ① 大橋 明日香 (国際看護学 修士)

「フィリピン共和国の都市スラムにおける結核治療未治療者に関する質的研究 Lost patients of TB treatment among the residents of the urban slum in the Philippines: Qualitative study」

研究責任者(大橋氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

#### ② 加藤 美佳 (国際看護学 修士)

「インドネシアにおける新生児蘇生法研修プログラムの開発および実行可能性検証のための比較介入パイロット研究」

研究責任者(加藤氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ③ 田中 利枝 (助産学 博士)

「早産児を出産した母親への Early Essential 搾乳ケアに関する看護師向け教育プログラムの効果」

研究責任者(田中氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

#### ④ 永井 智子 (公衆衛生看護学 助教)

「低出生体重児の家族支援のための保健師教育プログラムの開発 —教育プログラムの試行と評価—」

研究責任者(永井氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

#### ⑤ 麻原 きよみ (公衆衛生看護学 教授)

「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 —保健活動ツール(地区活動カルテ)の試行と評価—」

研究責任者(麻原氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

## 2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
17-A099	長期(2年以上)の邦人海外勤務者における糖尿病境界型とリスク要因に関する後ろ向きコホート研究	国際看護学	修士課程	笹山 桐子
17-A102	大学生の海外経験による自己の認識変容	国際部	事務	中島 薫

## 3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	17-A005	助産師の心的外傷性ストレス体験とワークエンゲイジメントおよびバーンアウトとの関連	助産学	博士後期課程	窪田 杏奈
変更申請	17-A024	外国にルーツを持つ子どものリプロダクティブヘルス向上のための教育プログラムの開発	ウイメンズヘルス・助産学	准教授	五十嵐ゆかり
変更申請	17-A094	地域特性に応じた保健活動推進 ガイドラインの開発-地区活動実態調査-	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ
終了報告	15-A061	看護基礎教育においてラーニング・アシスタントを行った学生の体験	がん看護学・緩和ケア	助教	池口 佳子
終了報告	16-A017	産後尿閉のリスクファクターの探索	助産学	修士課程	川添いづみ
終了報告	16-A023	造血細胞移植後に慢性GVHDを発症した患者家族支援家族を対象としたインタビュー調査	在宅看護学	助教	細田 志衣
終了報告	16-A094	在宅療養中の特発性肺線維症患者の実存的苦痛に関する質的研究	老年看護学	博士後期課程	猪飼 やす子
終了報告	17-A001	タンザニア思春期妊婦に対する、ピア・エデュケーターによる出産準備教育プログラムの評価	助産学	博士後期課程	Beatrice Mwilike
終了報告	17-A005	助産師の心的外傷性ストレス体験とワークエンゲイジメントおよびバーンアウトとの関連	助産学	博士後期課程	窪田 杏奈
終了報告	17-A021	嚥下機能障害により経鼻胃管留置中の高齢入院患者における絶食状況と絶食に伴う苦痛の関連性の検討	老年看護学	修士課程	河田 萌生
終了報告	17-A022	胸部ステントグラフト内挿術を受ける高齢患者の周術期フレイルに対する看護介入プログラムの作成と実践を通しての汎用性の検討	急性期看護学	修士課程	高梨 奈保子
終了報告	17-A034	分娩期における実地指導者が新人助産師の気づきと解釈を促進する教育	助産学	修士課程	山本 真実

終了報告	17-A041	経産分娩後に助産師が内診により行う骨盤底筋訓練の Feasibility Study	ウイメンズヘルス	博士後期課程	池田 真弓
終了報告	17-A054	助産外来・院内助産の組織、運営、評価に関する調査	助産学	教授	片岡 弥恵子
終了報告	17-A058	子育てと介護を同時に行う女性への看護職の支援	公衆衛生看護学	修士課程	野崎 愛美
終了報告	17-A061	1歳6か月健康診査における日本に暮らす外国人への保健師の支援	公衆衛生看護学	修士課程	藤富 絵里香
終了報告	17-A065	助産院における妊娠期からのパートナーシップへの支援の実態調査	助産学	修士課程	小島 悠美

#### 4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員長より、3月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。
- ③ 事務局より、誓約書が配布されサインをしてお提出いただく旨の連絡があった。
- ④ 事務局より、委員会ファイルが配布され、配布書類に関して説明があった。

#### 5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2018年5月29日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。